

「英単語ナンクロ」のすすめ



小口 登

私は横浜市立中学校で36年間教壇に立ちました。ご存じの通り、公立中学校には様々なレベルの生徒が混在しています。とりわけ3年生になると学力の差は相当なもので、そのような中で、生徒を集中させ授業を行っていくことは非常に困難なことでもあります。私はできる限り授業に変化をつけて生徒を飽きさせず、全員がいずれかの場面で参加できる授業づくりを心がけていました。

予定していた活動がスムーズに進み、生徒の集中力も切れ始めた時によく使ったのがこのパズルです。授業では、余った時間に見合う大きさのパズルを選んで、先にマスを書き込みます。生徒はノート等にそれを写していきます。ほぼ全員が写し終わった頃を見計らい、それぞれのマスに私が番号を記入するとそれがスタートの合図です。解けた生徒が手を挙げると飛んでいってチェックして、正解であれば黒板に名前を書きます。上位10名以内に入ろうと生徒は真剣そのものです。

このパズルの面白さは、決して学力の高い生徒が速く解けるとは限らず、時には英語が苦手な生徒が一番速く解いてしまうことです。そのような瞬間には教室中に歓喜の声が上がります。

最後にご自分で英単語ナンクロを作ろうという方にコツをご紹介します。まず最初に、同じ文字が複数入った「カギ」となる単語を考えます(右の例ではsee)。それを土台に縦横できるだけ同じ文字を使う単語を意識して埋めていきます(右の例では、“e”と“s”)。少しでも解きやすくするためです。最後にきれいに四角形になるように調整するのが苦労するところです。

■「英単語ナンクロ」のルールと解き方

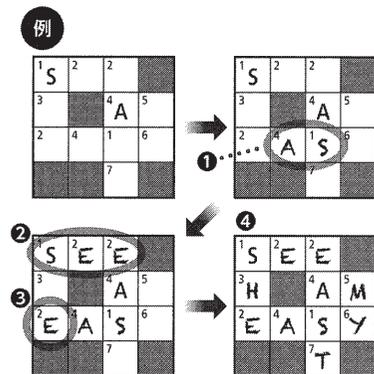
クロスワードパズルのように「ヨコのカギ」「タテのカギ」のヒントによって解くのではなく、マスに書いてある番号をヒントにして解き進めていきます。

☆同じ番号には、同じアルファベットが入ります。
☆タテ(上から下)とヨコ(左から右)で単語を作ります。

☆使用する単語は中学で学習する単語が中心です。

☆不規則動詞の過去形、過去分詞も含まれます。

☆代名詞の“i”, 不定冠詞“a”も1文字1単語として使用します。



- ① あらかじめ文字が入っている場合は、同じ数字のマスに文字を記入しておく。
- ② 同じ文字が2つ入っている単語がヒントになる。このパズルでは、[1・2・2]の単語。
- ③ ②で[1・2・2]=seeとわかったら、2=eも記入しておく。
- ④ [EAS・7], [EAS・6]をヒントに、すべてのマスを埋めて完成!

●入門

1	2	3
T		
4		1
4	5	2
	N	

- ・[3・1・2] は動詞の過去形。
- ・「紅茶」の意味の単語が入っています。

●初級

1	2	2	3
4	5		2
	F		
6		2	1
7	2	8	9
			E

- ・see - seen / go - [7・2・8・9]
- ・「部屋」「指輪」「より多くの」の意味の単語が入っています。

●中級

1	2	3	4	3
2		5		6
3	7	3	6	1
	V			
5				3
	6	3	8	4

- ・[1・2・3・5] は三人称の代名詞。
- ・「目」「近くに」「入る」の意味の単語が入っています。

☆私達の故郷です。

3	8	4	1	2
---	---	---	---	---

☞ 答えは24頁に掲載しています。

●上級

	1	2	3	4	4
1	5	6	2		5
	E				
6	4	4		6	2
3	4	4			2
7			6	8	5
	D				
	1	9	10		8
		O			

- ・Tokyo sky tree is the 2・6・4・4est tower in Japan.
- ・be 動詞が1つと、動詞の過去形が1つ含まれています。
- ・「席」「息子」「手紙」「病気の」の意味の単語が入っています。

☆懐かしい曲ばかりです！

9	4	7	3	5	1
---	---	---	---	---	---

(おぐち のぼる・元横浜市立鴨志田中学校教諭)